

新生児医療連絡会 2023年第3回役員会 議事録

日 時：2023年11月3日(金)8:00～9:00

会 場：パシフィコ横浜会議センター5階 511+512 会議室

[議題中すべて敬称略]

- ・役員24名、監事1名、前執行部3名、顧問1名が出席し開催された。

I. 報告事項

1. 会員状況（2023年11月3日現在）（杉浦 弘）

- 1) 会員数 **492名** （前回役員会以降の入会申請 5名、退会者 7名）
- 2) NICU代表 **256施設**
 - ・上記の内容を確認した。

2. 重症新生児に該当するケースについてのアンケート（祝原賢幸）

- 1) 主 体 小児科、周産期・新生児、新生児成育の3学会社会保険委員会
- 2) 発 出 2023年6月19日(月)～6月30日(金)
- 3) 対 象 NICU代表 257施設
- 4) 結 果 通信役員会〔230731〕での承認の後、連絡会ホームページに結果を公開
- 5) 実 施 上記6月のアンケートで調査協力を承諾した施設代表者宛に、メールおよび郵送にて調査依頼
 - ・上記アンケートの実施について報告された。

3. 追悼News Letterの発行（荒堀仁美）

- 18名の先生による文集を8月25日に発行した。
- ・上記のとおり報告された。

4. 看護師資格に関するアンケート（荒堀仁美）

- 働き方改革におけるタスクシェア・シフトを考えるうえで、現状を知るために看護師の資格についての調査を実施する案について、通信役員会〔231019〕で承認を得た。
- ・本アンケートの実施が通信役員会で承認された。NICU代表宛にアンケート調査を実施することが報告された。

5. 会員もしくはNICU代表宛のアンケート調査・広報の申請方法（杉浦 弘）

- 前回の役員会で調査・広報の申請方法について、本会ホームページに掲載した各申請書類をまずは執行部（事務局）に提出することを確認した。
- ・上記のとおり調査・広報の申請方法について確認した。

6. 今後の予定 (杉浦 弘)

- 1) 2024年第1回役員会 4月20日(土) 福岡 (九州医療センター 外来棟4階研修室 仮予約)
(第127回日本小児科学会学術集会2日目)
 - ・第1回役員会を上記のとおり現地開催することを確認した。
- 2) 2024年第2回役員会・第1回総会 7月14日(日) 大阪
(第60回日本周産期・新生児医学会学術集会2日目)
- 3) 2024年第3回役員会・第2回総会 11月9日(土) 松本
(第68回日本新生児成育医学会学術集会2日目)
 - ・上記2、3の7月、11月の予定については各会長にスケジュールをお伺いして、次回役員会までに決定することとした。

II. 協議事項

1. 新入会 (2023/07/11~11/3) (杉浦 弘)

- | | | |
|----------|-------|-----------------------|
| 23/08/16 | 向井 丈雄 | (東京大学医学部附属病院 小児科) |
| 23/08/28 | 山本 大 | (市立釧路総合病院 小児科) |
| 23/09/26 | 下澤 弘憲 | (国際医療福祉大学病院 小児科) |
| 23/10/21 | 屋良朝太郎 | (鹿児島市立病院 新生児内科) |
| 23/10/31 | 難波 文彦 | (埼玉医科大学総合医療センター 新生児科) |
- ・上記の入会を承認した。

2. 幹事・都道府県代表の交代 (杉浦 弘)

- 1) 幹事：関東
 - ・加部一彦 (埼玉医科大学総合医療センター) 退任
 - ・上記の退任とあわせて、関東幹事が6名から5名となることも承認された。
- 2) 都道府県代表：埼玉県
 - ・加部一彦 (埼玉医科大学総合医療センター) ⇒ 國方徹也 (埼玉医科大学病院)
 - ・上記の交代が承認された。加部先生からご挨拶をいただいた。

3. NICU マニュアルの改訂 (徳久琢也)

- 1) 編集責任者：細野茂春先生・徳久琢也先生・中西秀彦先生
- 2) 共同編集者：5名を選出し作業を分担
- 3) 改訂規模：小規模改定、編集作業1年間と想定
 - ・上記の内容が報告された。目次の再確認と、更新内容の検討を行っている。章ごとに担当者を定める予定である。
 - ・今回の改訂は小規模改訂とし、内容の統廃合を主に行うこととする。年内には依頼を進める予定。

- ・この次の第7版の際に大規模改訂を目指すことが報告された。
- ・地方での経験豊富な医師が減りつつある現状を考慮して、若手や専門外の医師も活用できる内容で改訂を行う。
- ・第2版以降の印税は連絡会に入っていることも確認した。

4. 事務局費・ホームページ管理費の定額案（杉浦 弘）

1) 現行の入金処理

- ・新生児医療連絡会の口座を副事務局長が開設し、入金・管理などを担当
- ・請求書の支払い（役員会や総会の会場費、News Letter の印刷費・封入作業費・送料、封筒代、ホームページサーバー代・ドメイン料）も副事務局長が担当
- ・毎年の事務局受託費とホームページ管理費は、事務担当者と Web 担当者の 1 年間の業務時間を積算し、事務局が算出
- ・メディア出版に、前年分の事務局受託費・ホームページ管理費と、コピー代・郵便料金・宅急便代などの立替金（前年分）を、翌年 5 月に支払い

2) 新たな運用案

- ・新生児医療連絡会の口座を、副事務局長名義で事務局が開設し、入金・管理なども担当。今後、各種請求書は内容を執行部に報告し、事務局が連絡会口座から支払い
- ・事務局受託費とホームページ管理費については、従来額を参考に定額への移行を執行部で検討。News Letter 制作や災害時連絡網運営も含めた業務内容を契約書・覚書に明記し、メディア出版と締結予定。役員会の承認、総会への報告。
- ・事務局受託費・ホームページ管理費・立替金・News Letter制作費・災害時連絡網運営費は、1～12月の当該年度分を12月中に事務局が連絡会口座から支払い
- ・従来の入金処理方法を確認し、新たな運用案として事務局が入金・管理を行い、事務局受託費・ホームページ管理費を定額とすることが承認された。
- ・年間の受託費・管理費は執行部で検討のうえ決定する。

5. 被災地の避難所等で生活をする赤ちゃんのためのQ&A（杉浦 弘）

昨今の世界情勢に鑑みへブライ語版の作成の提案があがった。

- ・東日本大震災の際に、日本で被災し日本の避難所で外国人が使用することを想定して作成された経緯が報告された。各種言語に展開する際には、日本に在住する外国人の割合なども考慮して言語を選択し日本在住の方に翻訳協力を得た。
- ・戦地で困る人のためにウクライナ語への翻訳が実現したが、本Q&Aは戦争を想定して作成されたものではないことが指摘された。
- ・へブライ語については現地の情報を精査し、改めて検討することとした。

- ・英語版にて、使用に関する許諾の旨を明記すべきとの意見があがった。

6. 厚生労働省への出向推薦（杉浦 弘・祝原賢幸・寺澤大祐）

7 月に開催された前回の役員会で議題にあがった厚生労働省への出向推薦の件について、進捗を確認する。

- ・現在出向されている新生児科のご担当者（片岡先生）の任期が迫っており、後任の推薦が喫緊の課題であることが報告された。
- ・新生児科医が厚生労働省にすることが重要であり、年齢的には課長補佐級の32～40歳ぐらいとなる。
- ・医局や施設の意向も大きくかかわっているとの指摘があり、本人の意向をふまえたうえで人事権のある方へのアプローチが必要との意見があがった。

7. 非会員へのNews Letter 執筆依頼と謝礼について（荒堀仁美）

次号のNews Letter作成において、非会員の方に執筆を依頼した。については非会員への執筆の謝礼として、クオカード5,000円分の贈呈について上申する。

- ・上記のとおり承認された。

8. 広 報：調査のご協力依頼（AMED研究ご協力への呼びかけ）

- ・和田監事より上申のあった上記の広報依頼が承認された承認された。会員宛に案内を送付しホームページでも広告する。

Ⅲ. 総会予告 総会講演案内（南 宏尚・杉浦 弘）

座長：徳久琢也・杉浦 弘

18:30～19:15 「母子保健施策の動向 ～新生児医療からの切れ目ない母子保健施策～」

こども家庭庁 成育局母子保健課 課長補佐 栗嶋クララ 先生

19:15～20:00 「働き方改革を見据えた NICU での特定行為について」

千葉大学医学部附属病院 看護部 副看護師長 西宮 岳 先生

- ・招聘の経緯などが紹介された。